

Parama-Tech

全自動血圧計 管理医療機器 特定保守管理医療機器

FT-1100

取扱説明書

製造販売元
株式会社 パラマ・テック
福岡県福岡市東区多の津1-7-5
DRD-YOP-000371 2008.04.01 [第2版]

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- 本製品を安全に正しく使用していただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、安全上のご注意、機能、使用方法を十分に理解して下さい。
- この取扱説明書は、必要な時、すぐに取りだせるように大切に保管して下さい。

本製品は、医師の診療に供する医療機器です。
測定結果は自己判断せず、専門医などの診断を仰いで下さい。

取扱上の注意事項

安全にご使用いただくために

本取扱説明書では、機器を安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の表示を使って注意事項を喚起しています。これらの表示の意味は次の通りです。内容をよく理解して、これらの表示が記載されている事項については、必ずお守り下さい。

	警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
	注意 人が重傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定されることを示します。
	この記号は、特に注意を促す内容があることを告げるものです。
	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守って下さい。

設置上の注意

- △ 警告
△ 水のかからない場所に設置して下さい。
△ 気圧・温度・湿気・風通し・日光に留意し、埃・塩分・イオン分などを含む空気により悪影響を生ずるおそれのない場所に設置して下さい。
△ 傾斜・振動・衝撃などの影響を受けない場所に設置して下さい。
○ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないで下さい。

使用前の注意

- △ 注意
△ コード類が正しく確実に接続されているか確認して下さい。
△ この機器はAC100Vの家庭用電源で動作します。ご使用になる電源の電圧及び許容消費電力には注意して下さい。
△ 機器が正常に安定して動作することを確認して下さい。

使用中の注意

- △ 警告
△ 機器及び利用者に異常がないことを常に確認して下さい。
△ 機器及び利用者に異常が発見された場合には、利用者の安全の確保のため、ただちに機器の作動を止めるなど、適切な処置をとって下さい。
△ 機器の内部及び他の電気器具などに利用者が触れることのないように注意して下さい。

使用後の注意

- △ 注意
△ コード類を取り外す時は、コネクタやプラグ部分を正しく持って取り外して下さい。
△ 付属品、コードなどは整理してまとめておいてください。

保管上の注意

- △ 注意
△ 水のかからない場所に保管して下さい。
△ 気圧・温度・湿気・風通し・日光に留意し、埃・塩分・イオン分などを含む空気により悪影響を生ずるおそれのない場所に保管して下さい。
△ 傾斜・振動・衝撃などの影響を受けない場所に保管して下さい。
○ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないで下さい。

故障について

- △ 注意
△ 故障した時には「使用中止」などの適切な表示をして最寄りの弊社営業所または販売代理店にご連絡、ご相談下さい。

定期点検について

- △ 注意
△ 安全にご使用いただくために、機器及び部品は必ず定期点検をおこなって下さい。
△ しばらく使用しなかった機器を再使用する時には、使用前に必ず機器が正常かつ安定して動作することを確認して下さい。
○ 機器を分解・改造したり、他の目的に使用しないで下さい。

免責事項について

- 本製品は、医師の診断に有用な情報を提供する機器ですが、診断をおこなうものではありません。本製品で測定した結果にかかわらず、健康状態に影響があったとしても、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品で測定した結果は、測定した時点でのデータです。症状は急変することがありますので、測定データを自分で判断せず、医師に相談して下さい。健康状態に影響があったとしても、当社は一切責任を負いません。ご自身の健康状態と測定データが気になる場合は早めに医師の診断を受けてください。
- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者の行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用、または使用不能から生ずる附随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に関して当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

目次

	ページ
取扱上の注意事項	1
免責事項について	2
目次	3
製品概要/特長	4
ご使用になる前に	5
各部の名称	6
測定前の確認事項	7
測定方法(操作の流れ)	8
測定方法(操作手順)	9~13
1 電源を入れる	9
2 測定メニューの選択	10
3 ID.Noの入力	10
4 身長/体重の入力	11
5 測定の開始	11
6 測定中...	12
7 測定終了	12
8 電源を切る	13
データの表示	14~16
■ 測定結果とその詳細	14
A 血圧	15
B KSG/P-P	15
C その他	16
プリント機能	17~18
■ 本体プリント	17
■ A4プリント	18
記録紙のセット方法	19~20
機能の設定	21~29
■ 管理設定メニュー	21
A 時計の設定	22
B 画面の設定	23~27
B-1 画像の選択/表示順の編集	24
B-2 画像の取り込み	24~26
B-3 画像表示の開始	27
B-4 画像の切替間隔	27
B-5 設定内容の更新	27
C 血圧測定の設定	28
D 音声の設定	28
E パスナンバーの変更	29
その他の機能	30
■ 外部データ	30
■ データテーブルの印字	30
■ 記録紙の紙送り	30
故障かな?と思ったら	31
メンテナンスなど	32
仕様	33

製品概要/特長

概要

全自動血圧計FT-1100は、カフの装着から測定までを自動で行ないます。操作はすべて画面(タッチスクリーン)上で行ない、測定を行なう上での注意や測定したデータ項目についての解説を表示することができます。また、機能の設定も画面上で行なうことができます。

非観血式血圧測定法として聴診法(Riva-Rocci法)を用いています。測定中の動脈音を内臓のマイクロコンピュータで信号処理を行なうことによって、

- ① 血圧値
- ② 脈拍数
- ③ KSG(コロトコフ音図)
- ④ TP-KS
- ⑤ 心筋負荷指数
- ⑥ 総末梢抵抗

また、身長/体重を入力することによって
⑦ BMI(体格指数)
を記録できます。

特長

- 測定中に発生したコロトコフ音を記録しますので、スワンの第1点から第5点の確認が容易です。
- コロトコフ音の大きさは血流量と正の相関があることから、同一測定者においては上腕動脈血流の変化を推測できます。
- コロトコフ音図から不整脈情報を得ることができます。

ご使用になる前に

ご使用になる前に付属品の有無をお確かめ下さい。

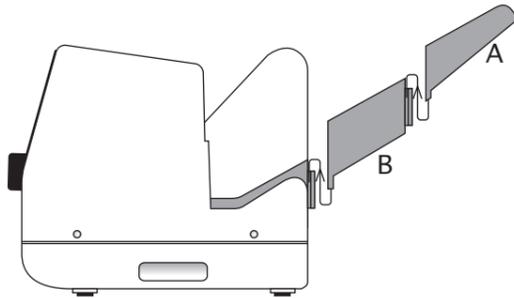
標準付属品

- 電源コード 1本
- 取扱説明書 1部
- 腕置きA,B 各1点
- 記録紙 5巻
- 品質保証書 1部
- 透明防塵カバー 1枚
- 添付文書 1部

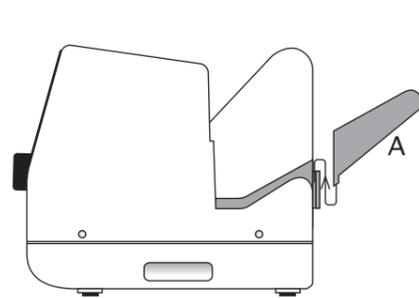
設置方法

- 専用架台を使用して設置して下さい。椅子の高さは、測定部位(上腕動脈)が心臓の高さと同じになるように調整して下さい。
- 本体背面部分に腕置きを取り付けます。腕置きは2つの部品A,Bに分かれています。設置スペースに合わせてABまたはAのみを取り付けて下さい。(図A)
- アース線を接続し、電源接地をして下さい。

■A,Bを取り付ける場合



■Aのみを取り付ける場合



- 本体背面部分に腕置きを取り付けます。腕置きは2つの部品A、Bに分かれています。設置スペースにあわせてA、Bを取り付けて下さい。(図A)

設置場所について

下記の場所には設置しないで下さい。

- 直射日光の当たる場所
- 水、薬液、蒸気のかかる場所

設置上の注意

- 本器の上にものを置かないで下さい。
- 電源コードをひっかけたりしないように配線して下さい。

移動の注意

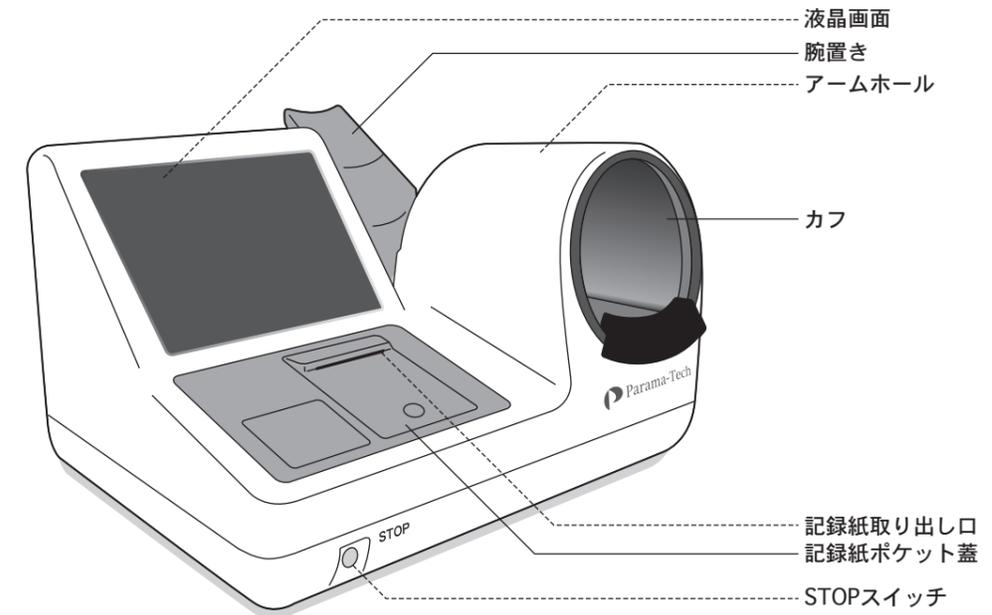
- 電源スイッチを切り、電源コードをプラグから抜いて移動して下さい。
- 専用架台のキャスターのロックを解除してから移動して下さい。
- 凹凸の激しい床面を移動する時は、本体を架台にのせたまま移動しないで下さい。

電源の接続

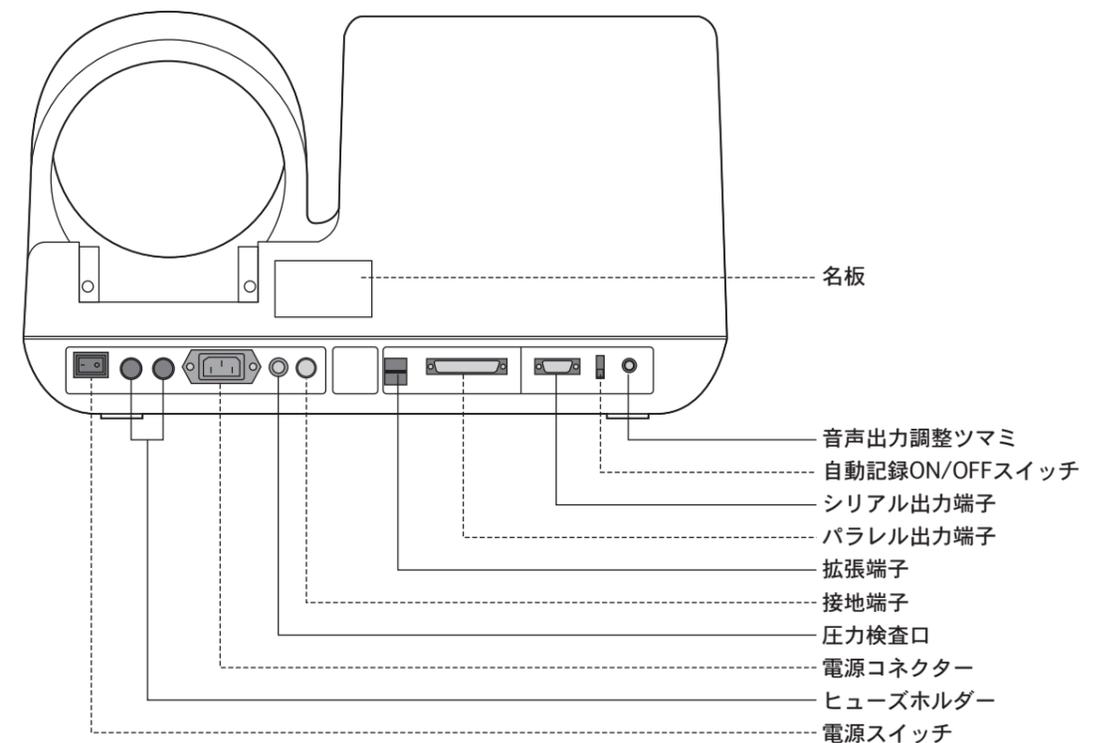
1. 本体背面の電源インレットに電源コードを接続し、プラグをAC100V電源コンセントに接続します。本体の接地端子にアース線を設置します。
2. アース線をACコンセントの接地端子などに接続し、電源接地をおこないます。

各部の名称

前面



背面



測定前の確認事項

タッチスクリーン液晶の取扱いに関するご注意

- △画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。
- △液晶パネルに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、最寄りの弊社営業所または販売代理店にお問い合わせください。
- △指以外の柔らかいものが触れても入力されることがあります。
- △接触面積が大きい場合(手のひらなど)、正しく入力されないことがあります。
- △入力の有効範囲(ボタンの部分)以外が押されている状態でのボタン入力は無効となります。また、2箇所以上のボタンを同時に押しても入力は無効となります。
- 液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。
- 液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押ししたり、こすったりしないでください。傷がつく恐れがあります。なお、布などで強くこすっても傷が入ることがありますのでご注意ください。

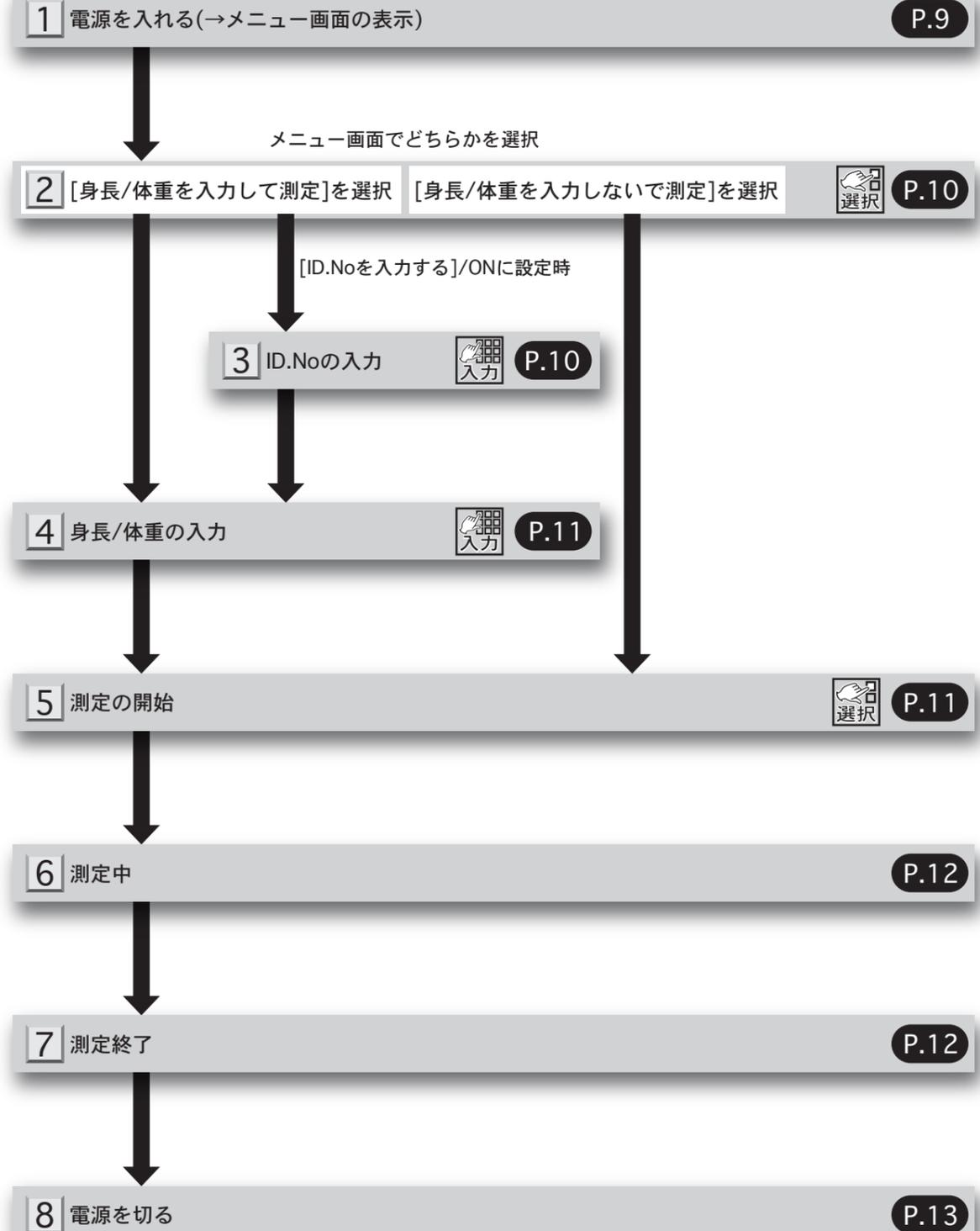
測定に関するご注意

血圧測定をおこなう前に以下のことに注意して下さい。

- △測定ができません
 - 本装置はカフを自動装着しますが、腕の直径が60mm以下の場合、測定者の危険防止のための保護回路が作動して測定できません。
- △測定ができない場合があります
 - 末梢循環不全や著しい低血圧等により、血流が少なく聴診器でもコロトコフ音が聴き取りにくい時は、測定できない場合があります。
- △正確な測定データを得るために...
 - セーター等、厚手の上着は脱いでから測定をおこなって下さい。
 - 緊張している場合は、深呼吸を数回おこなってから測定をおこなって下さい。
 - 測定中は身体を動かしたり、会話をしないで下さい。
 - 同一の測定者が繰り返し測定を行う場合は、少なくとも2分以上の間隔をおいて測定して下さい。
- △測定の姿勢
 - 測定する時は測定部位(右腕)と心臓の位置が同じ高さになるようにして下さい。その際、無理な体勢にならないように椅子の高さを調節します。



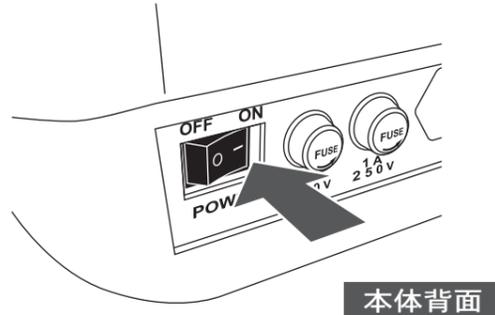
測定方法(操作の流れ)



測定方法(操作手順)

1 電源を入れる

本体背面の電源スイッチをONにします。起動画面が表示されたのち、メニュー画面が表示されます。(本体背面の電源スイッチを入れてからメニュー画面の表示までは約2分ほどかかります)



本体背面

■メニュー



注意 一定時間、画面操作をおこなわないと、画面は待受画面に切り替わります。待受画面の表示中、画面に触れるとメニュー表示に戻ります。

チェック 待受画面に切り替わるまでの時間を設定することができます。初期設定は5分に設定されています。設定の手順など、詳しくはP.27を参照して下さい。

2 測定メニューの選択



●メニュー画面で
・[身長/体重を入力して測定]
・[身長/体重を入力しないで測定]
のいずれかのボタンを押します。

- [身長/体重を入力して測定]を選択
→ 3 ID.Noの入力(P.10)へ
- [身長/体重を入力しないで測定]を選択
→ 5 測定の開始(P.11)へ

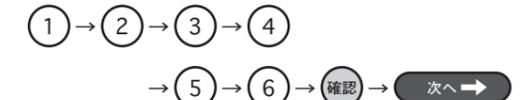
注意 ●身長/体重の入力について
身長/体重を入力して測定を行なうと、BMI(体格指数)を算出します。算出されたBMIは測定終了後の画面(測定終了[その他]P.16参照)に表示されます。一方、身長/体重を入力しないで測定を行なうと、BMIは算出されず、データ表示も行われません。

3 ID.Noの入力 ([ID.Noを入力する]をONに設定時)



- ① ID.Noを入力し、[確認]を押します。ID.Noは13桁までの入力が可能です。[クリア]を押すと入力した数字を1字ずつ消去します。
- ② 正しく入力できたら[次へ]を押します。

入力例 [ID.No]123456と入力する場合



※この時入力ボックスには[0000000123456]と表示されます

注意 ●ID.Noの入力について
測定の際、ID.Noを入力してから測定をおこなう場合は[管理設定]→[血圧の測定]→[ID.Noを入力する]を"ON"にします。設定の方法など詳しくはP.28を参照して下さい。初期設定では[ID.Noを入力する]は[OFF]に設定されています。

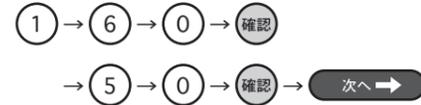
測定方法(操作手順)

4 身長/体重の入力

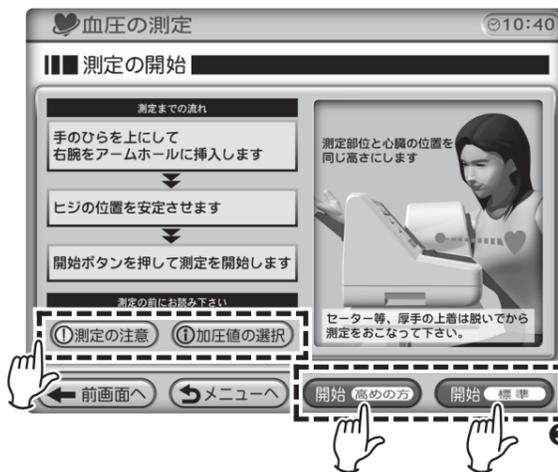


- 1 身長を入力し、[確認]を押します。
~カーソルが体重入力に移ります~
- 2 体重を入力し、[確認]を押します。
- 3 正しく入力できたら[次へ]を押します。

入力例 [身長]160cm、[体重]50kgと入力する場合



5 測定の開始



- 1 手のひらを上にして右腕をアームホールに挿入します。
- 2 ヒジの位置を安定させます。
- 3 測定の準備ができたなら
 - ・ [測定開始(標準)]または
 - ・ [測定開始(高め)]
 いずれかのボタンを選んで測定を開始します*1。

●測定の開始 ~加圧値の選択について~

※1

加圧値とは?

測定を開始すると、自動的に腕帯(カフ)が腕に巻きつき、次に腕帯が膨らんで腕を締めつけます。この腕を締めつける時の力(圧力)の値が加圧値です。

FT-1100は測定を開始する際、加圧値(どれだけ加圧するか)を選択して測定を開始できます。

通常は、[測定開始(標準)]を選択して測定を開始します<加圧値は160mmHg>。また、血圧が高めの方(最高血圧140mmHg以上の方)などは[測定開始(高め)]を選択して測定を開始します<加圧値は200mmHg>。

以上の内容については画面中の[加圧値について]ボタンを押すことで確認することができます。

●測定の際の注意事項

注意

測定を開始する前には、画面中の[測定の注意]ボタンを押し、正しく測定をおこなうための注意事項を確認した上で、測定を開始して下さい。測定の際の注意事項に関してはP.7「測定に関するご注意」にも記載されていますので、併せてご確認ください。

6 測定中...



- 測定はリラックスした状態でおこないます。(P.7「測定に関するご注意」を参照)

注意

●測定を途中で中止する場合

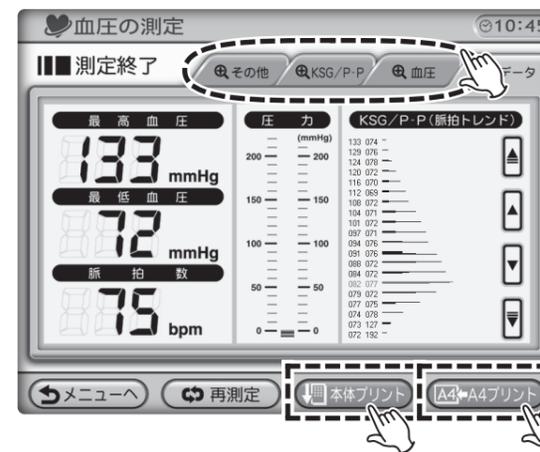
測定を途中で中止する場合、画面下の[中止]ボタンを押します。機器の誤動作により、[中止]ボタンが効かない場合は、本体正面の左下にある[STOP]スイッチを押します。[STOP]スイッチを押すと、機器は強制的にリセットされ、画面はメニューに戻ります。

●自動的に再加圧をおこなった場合...

注意

測定を開始すると腕帯(カフ)が加圧され、選択された加圧値(P.11「測定の開始~加圧値の選択について」を参照)に達すると、徐々に腕帯の圧力は減圧されます。この減圧の際に、自動的に再加圧をおこなう場合があります。これは加圧不足による再測定をおこなうためです。しかし、末梢循環不全や著しい低血圧等により、血流が少なく、聴診器でもコロトコフ音が聴き取りにくい場合は、再加圧を繰り返し、測定できない場合があります。

7 測定終了



- 測定が終了すると画面は以下のように表示されます。測定結果を印刷するには、画面下の[本体プリント]を押します。FT-1100に接続が可能な外部プリンターに接続している場合には画面下の[A4プリント]を押すとA4用紙に印刷することもできます。(詳しくはP.18「A4プリント」を参照)
- 測定データの詳細を見る時は画面上のタグを押します。(詳しくはP.14「測定結果とその詳細」を参照)

●A4プリントについて

注意

FT-1100に接続が可能な外部プリンタからのA4プリントには数分ほど時間がかかります。A4プリント中にメニューに戻ったり、再測定を行なうと、測定したデータは失われます。(A4プリントは続行されます)

🔍 測定結果とその詳細 P.14

🖨️ プリント機能 P.13

測定方法(操作手順)

警告

- 測定結果の自己判断は危険です

測定データは体動や会話、ノイズなど、測定の状態によって異なります。測定結果は自己診断をせず、データが気になる場合は専門の医師の診断を仰いで下さい。

注意

- 測定できない場合があります

末梢循環不全や著しい低血圧等により、血流が少なく聴診器でもコロトコフ音が聴き取りにくい時は、測定できない場合があります。

また、本機器はカフ(腕帯)を自動装着しますが、腕の直径が60mm以下の場合、測定者の危険防止のための保護回路が作動して測定できません。

- 再度測定を行なう場合...



測定終了後、再度測定を行なう場合には、画面下の[再測定]ボタンを押します。再測定を押すと測定開始の画面が表示され、この画面で[開始]ボタンを押すと測定を開始します。

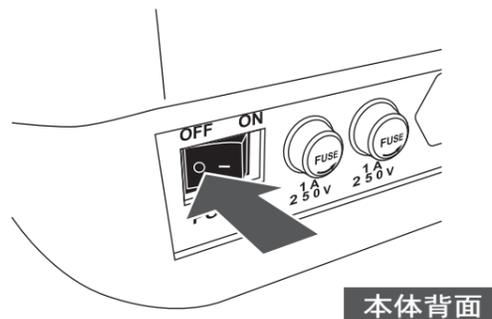
注意

- 再測定を行なう時は...

再測定を行なう時はしばらく時間を置いてから測定を行なって下さい。

8 電源を切る

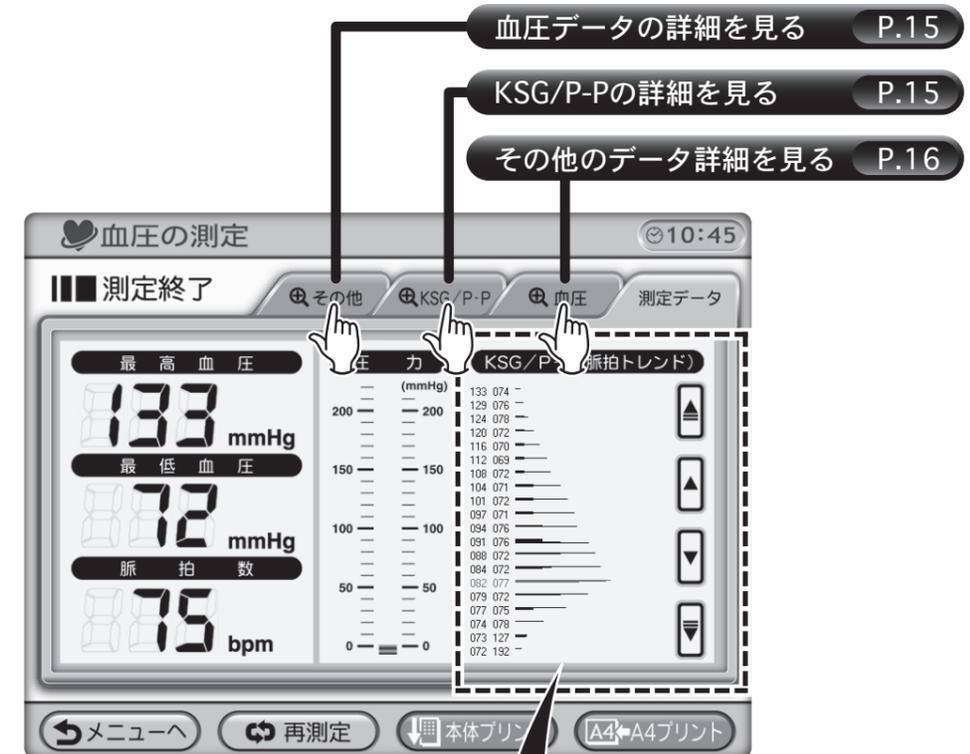
- 機器をしばらく使用しない時は本体背面の電源を切ります。



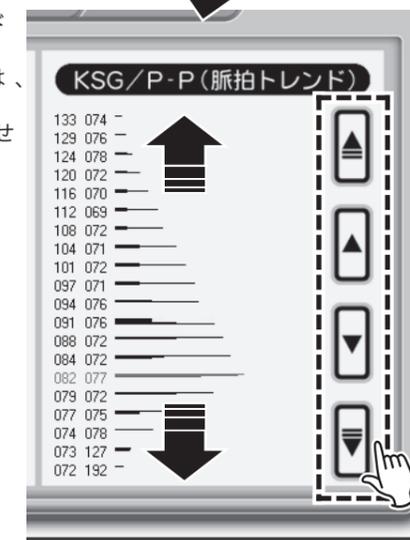
データの表示

測定結果とその詳細

- 測定終了後、測定データの詳細を表示することができます。



- KSG(コロトコフサウンドグラフ)及びP-P(脈拍トレンド)が縦に長い場合には、KSG/P-Pのパネルの右側のボタンでスクロールさせることができます。



データの表示

■ 血圧

■ 測定終了(血圧)



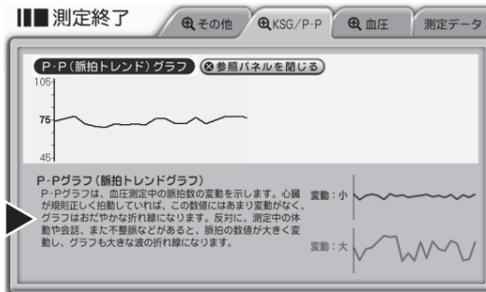
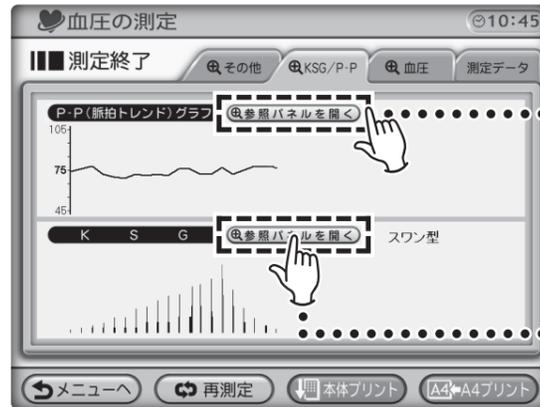
● 測定した血圧のデータと血圧の分類を表示します。

注意 参照データは血圧の一般的な分類を示すものであり、診断ではありません。測定結果が気になる場合は専門の医師の診断を仰いで下さい。

■ KSG/P-P

● 測定したKSG(コロトコフ音図)とP-P(脈拍トレンド)を表示します。[参照パネルを開く]ボタンを押して、KSG及びP-Pの解説を参照することができます。

■ 測定終了(KSG/P-P)



注意 参照パネルの内容は血行状態等の傾向を示すものであり、診断ではありません。測定データは自己判断せず、データが気になる場合は、専門の医師の診断を仰いで下さい。

■ その他

■ 測定終了(その他)



● 血圧値以外にも心負担、TP-KSなど、その他のデータを参照することができます。さらに、項目ボタンを押すことで、その項目に関する解説や基準値等を参照することができます。



注意 測定データに対するマーク表示及び測定項目の解説等は一般的な基準や傾向を示すものであり、診断ではありません。測定結果が気になる場合は専門の医師の診断を仰いで下さい。

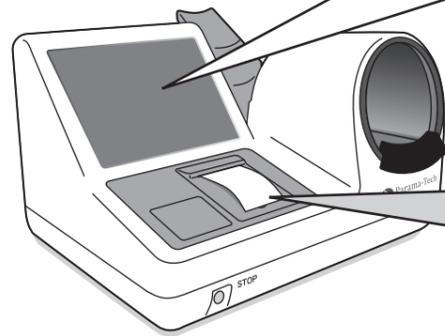
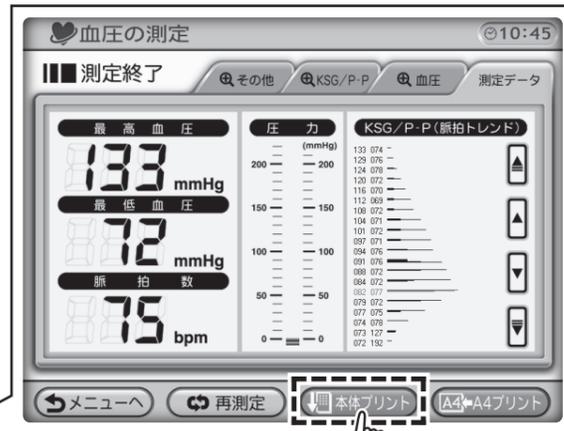
プリント機能

本体プリント

測定が終了して測定データの表示中、画面下の[本体プリント]を押すと、本体プリントを行ないます。記録紙は自動的に切り取られます。

注意 本体背面の自動プリントON/OFFスイッチがONになっている場合は、測定終了時に自動的に本体プリントを行ないます。

注意 記録紙が無い場合には本体プリントができません。P.19～「記録紙のセット方法」を参照して記録紙を補充して下さい。



ID.Noを入力しないで測定を行なった場合には、[000000000000]と表示されます。

身長/体重を入力しないで測定を行なうと数値は00.0表示になります。

「管理設定メニュー」→「血圧測定の設定」→「測定後、KSGタイプ(スワン型etc.)の表示をする」にチェックを入れていないと印字されません。

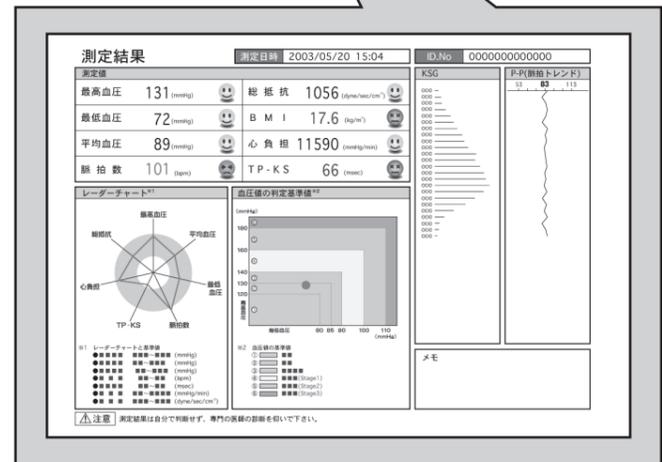
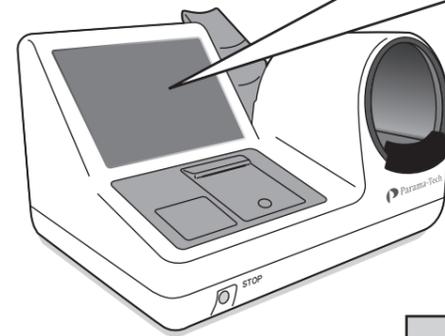
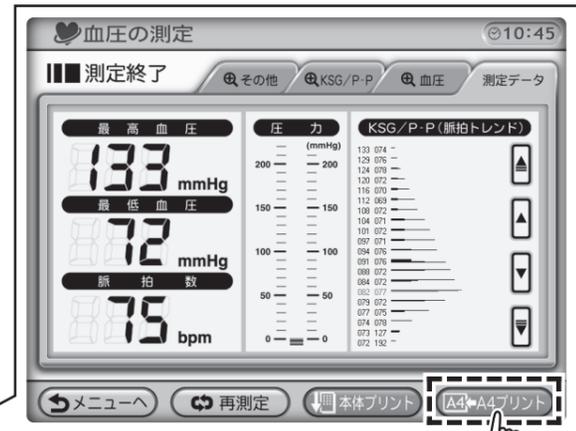
```

● ID-NO ..... 000000000000
日付 ..... 03/07/24
時刻 ..... 06:03
最高血圧 ..... 108 mmHg
平均血圧 ..... 078 mmHg
最低血圧 ..... 064 mmHg
脈拍数 ..... 087 bpm
● BMI ..... 20.5
108 084 -
104 085 -
099 086 -
095 086 -
092 086 -
088 084 -
084 089 -
081 088 -
078 089 -
076 093 -
072 089 -
070 089 -
067 093 -
064 088 -
● スワン型
TP-KS(MSEC)..... 071
心負担 ..... 09396
総抵抗 ..... 0960
    
```

A4プリント

別売オプションとして、FT-1100に接続が可能なプリンタを接続すれば、測定したデータをA4用紙にプリントアウトすることができます。測定が終了して測定データの表示中、画面右下の[A4プリント]を押すと、プリンタからプリントアウトを行ないます。

注意 [A4プリント]を押してからプリントアウトが完了するまでには数分かかります。



注意

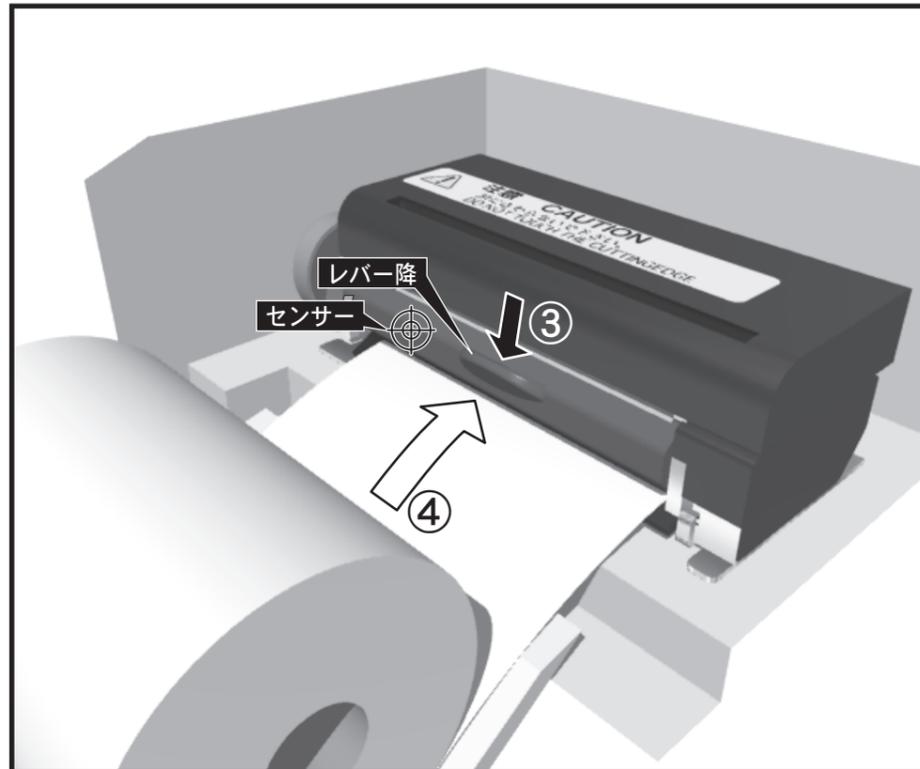
●A4プリンタ(別売オプション)の接続
FT-1100にはあらかじめ接続が可能なプリンタが指定されています。指定のプリンタ以外を接続すると、印字が行なわれない、また本体に悪影響を及ぼす等のおそれがあります。プリンタの接続及びその設定は弊社営業所、または販売代理店にお申し付け下さい。

●A4プリントを行なう前に...
プリンタの接続(電源ON)をお確かめ下さい。プリンタが接続されていない状態で何度も[A4プリント]ボタンを押すとプリントアウトが行なわれないほか、血圧測定機能にも支障をきたすおそれがあります。A4プリンタのご使用の際は、FT-1100本体の電源接続と併せてA4プリンタの接続を確認することをお勧めします。

記録紙のセット方法

自動給紙

- ① プリンタカバー取り付けネジを緩め、プリンタカバーを外します。
- ② 記録紙の端をまっすぐに切ります。
- ③ プリンタのレバーが下に降りていることを確認します。
- ④ 記録紙を記録紙挿入口にまっすぐ入れると自動的に給紙されます。

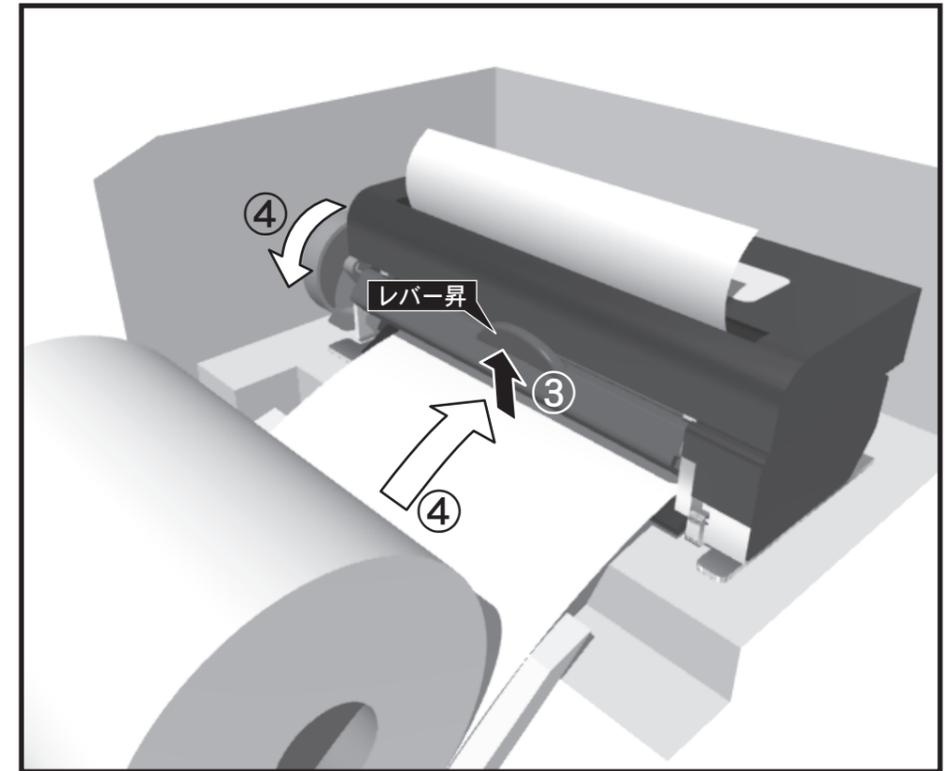


自動給紙

手動給紙

自動給紙がうまく行えない場合は、手動で給紙することができます。

- ① プリンタカバー取り付けネジを緩め、プリンタカバーを外します。
- ② 記録紙の端をまっすぐに切ります。
- ③ プリンタのレバーが上がっていることを確認します。
- ④ 記録紙を記録紙挿入口にまっすぐ入れながら[緑のツマミ]を手前に回して給紙します。
- ⑤ 給紙が完了したら、プリンタのレバーを下に降ろします。



手動給紙

自動

- プリンタのレバーが上がっていると、自動給紙は行なわれません。自動給紙を行なう際はプリンタのレバーを下に降ろしてから行なって下さい。
- 記録紙挿入口には記録紙の挿入を感知するセンサーがあります。記録紙をまっすぐ切って挿入しないと自動給紙しない場合があります。

自動

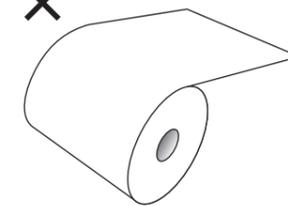
手動

- 記録紙のセットが完了したのち、プリンタのレバーが下に降りていることを確認して下さい。プリンタのレバーが上がっている状態では印字が行なわれません。
- 紙詰まりを防ぐため、記録紙はまっすぐに挿入して下さい。
- 印刷面に注意して記録紙をセットして下さい。正しくセットされていない場合には記録紙に印字が行なわれません。

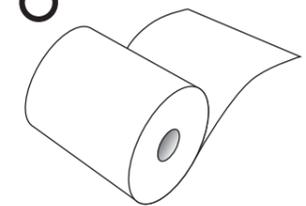
注意

⚠ 記録紙の表裏に注意

×



○



機能の設定

管理設定メニュー

血圧測定の際のデータパネルの表示設定や待受画面の表示設定など、FT-1100の機能設定は[管理設定]でおこないます。



①メニューの画面で[管理設定]を押します。



パスワードの入力*画面が表示されます。
②パスワードを入力して[確認]を押します。
③[OK]を押します。

●パスワードの入力
※ [管理設定]画面を表示する際にはパスワードの入力が必要です。パスワードは初期設定では[0000]に設定されています。パスワードを変更する場合は[管理設定]→[パスワードの変更]で変更を行います。



管理設定メニューが表示されます。
④管理設定メニューの中から項目を選択します。

- A. 時計の設定 P.22
年月日と時刻の設定をおこないます。
- B. 画面の設定 P.23
待受画面の設定/取込みをおこないます。
- C. 血圧測定の設定 P.28
血圧測定中の表示設定をおこないます。
- D. 音声の設定 P.28
音声の設定をおこないます。
- E. パスワードの変更 P.29
パスワードの変更をおこないます。

A 時計の設定



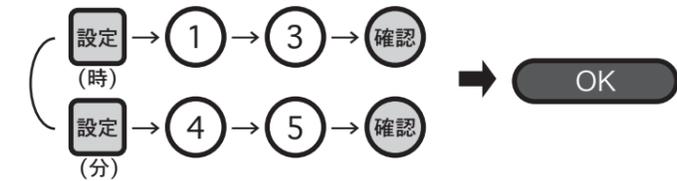
●管理設定メニュー(P.21)で[時計の設定]を選択すると図の画面が表示されます。

- ①[設定]ボタンを押すと変更箇所が選択されます。
- ②数値を入力し、確認ボタンを押します。
- ③変更が完了したら[OK]を押して設定内容を更新します。

※設定の途中で[キャンセル]を押すと設定内容は更新されません。

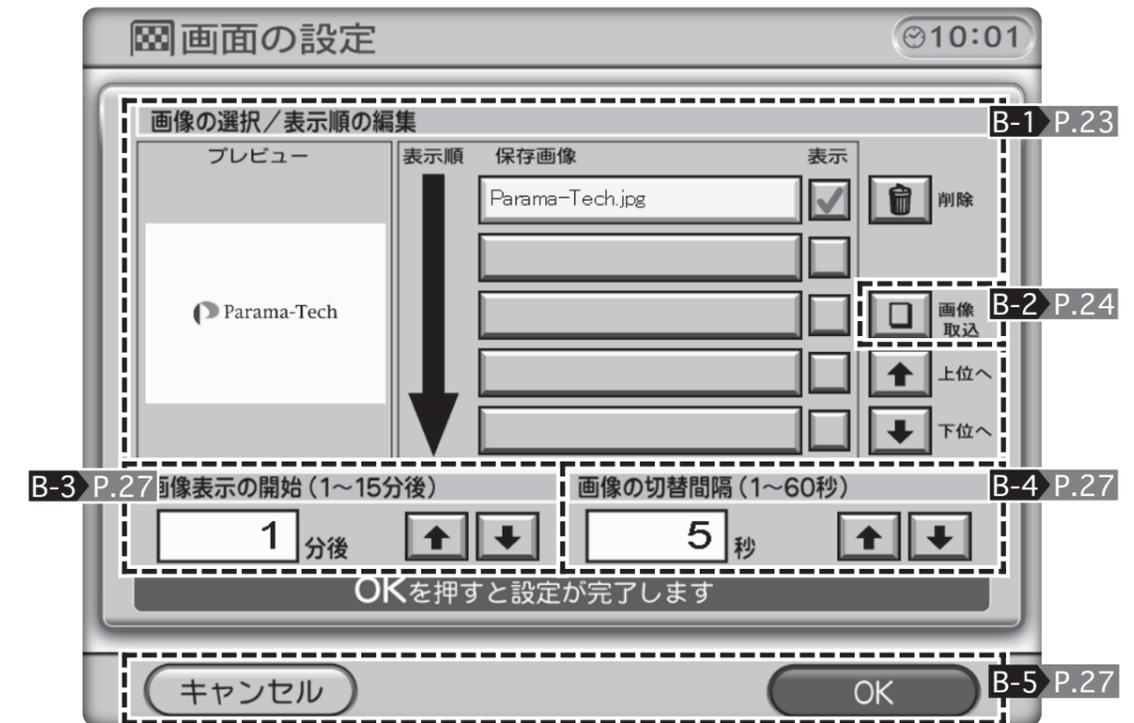
入力例

上図の画面で時刻を13時45分に変更する場合



B 画面の設定

管理設定メニュー(P.21)で[画面の設定]を選択すると画面の設定画面が表示されます。



B-1 P.23

B-2 P.24

B-3 P.27 画像表示の開始(1~15分後)

画像の切替間隔(1~60秒)

B-4 P.27

B-5 P.27

機能の設定

B-1 画像の選択/表示順の編集

画像表示のON/OFF

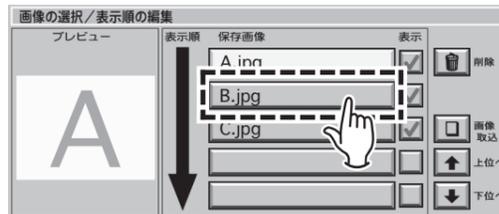


●保存されている画像ファイル名の右のチェックボックスに触れて表示のON/OFFを切替えます。



注意 すべて画像の表示ををOFFに設定した場合、待受画面は表示されません。

保存画像の削除



① 削除したい画像ファイル名に触れて選択します。(左図では"B.jpg"を選択)

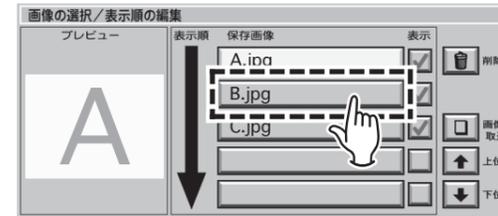


② 削除したい画像が選択されている状態で[削除]を押します。



③ 選択した画像が削除されました。

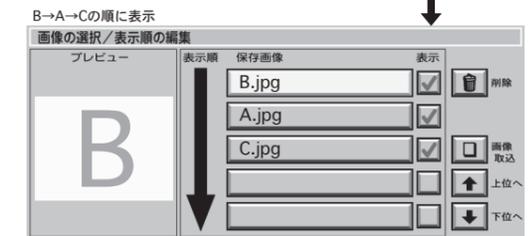
表示順位の編集



① 表示順位を変更したい画像ファイル名に触れて選択します。(左図では"B.jpg"を選択)



② [上位へ/下位へ]を押して順位の繰り上げ/繰り下げをおこないます。



B-2 画像の取り込み

画像を取込む前に...

画像を取込む際には、指定の外部メモリ(別売オプション)が必要です。詳しくは弊社営業所または販売代理店にお問い合わせ下さい。



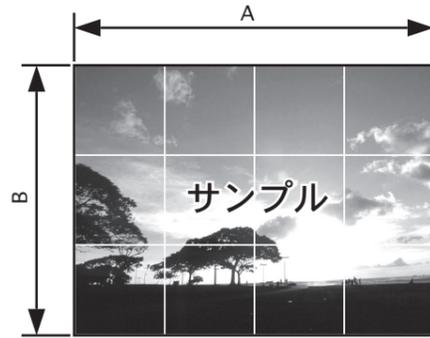
外部メモリ(オプション)

機能の設定

B-2 画像の取込み(つづき)

取込み画像の用意

画像の縦横比

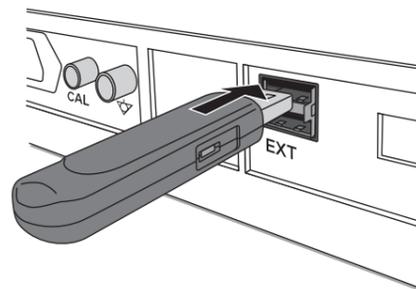


A : B = 4 : 3

- メモリに保存する画像は、画像の縦横比が4:3となるように作成します。
- 画像ファイルはJPEG(ジエイベグ)形式で保存します。

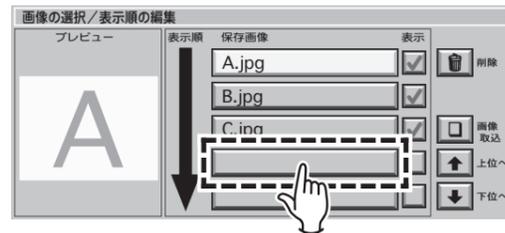
注意 ●画像解像度について
FT-1100のタッチパネル液晶の表示解像度は800X600dpiです。取込み用の画像を保存する際には解像度に注意して下さい。解像度の高い画像を待受画面に設定すると、画面の切替えがスムーズにおこなわれないことがあります。

画像の取込み



- 本体背面の外部入出力端子に画像の保存されているメモリを接続します。

注意 ●外部メモリの接続
メモリを確実に認識させるために、メモリは電源投入後、メニュー画面が表示されたのちに接続して下さい。



- 取込み画像の保存先を選択します。(左図では上から4番目を選択)



- 画像の保存先を選択したら、[画像取込み]を押します。

画像の取込み(つづき)

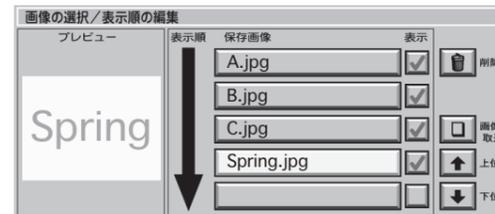


- 画像の取込み画面が表示されます。この画面には、USBメモリに保存されている画像のリストが表示されます。

- [前頁/後頁]を押してリストをスクロールし、取込む画像を選択します。(左図では"Spring.jpg"を選択)



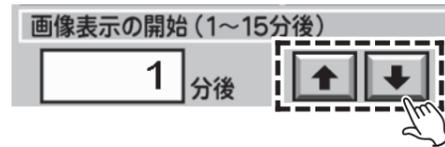
- 取込む画像が選択されている状態で画面下の[OK]を押します。



- 画面設定の保存画像に"Spring.jpg"が追加されます。

機能の設定

B-3 画像表示の開始



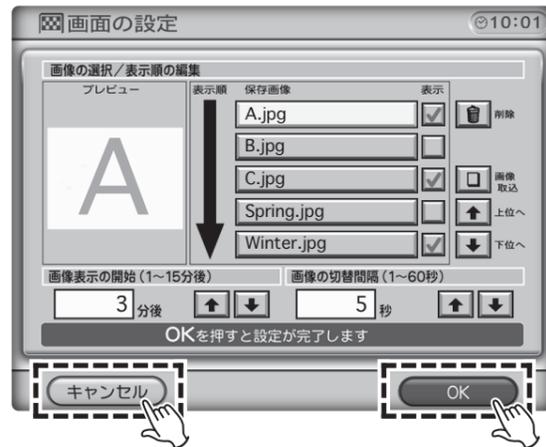
- 画面操作をおこなわない時の待受画面表示までの時間を設定することができます。(初期設定では5分後に設定されています)
- 開始時間は上下矢印のボタンで変更します。設定時間は1~15分の範囲で設定できます

B-4 画像の切替間隔



- 複数の待受画面を表示する際、各々の画面の切替え時間の間隔を設定することができます。(初期設定では30秒間隔に設定されています)
- 時間の設定は上下矢印のボタンで変更します。切替えの間隔は1~60秒の範囲で設定できます

B-5 設定内容の更新

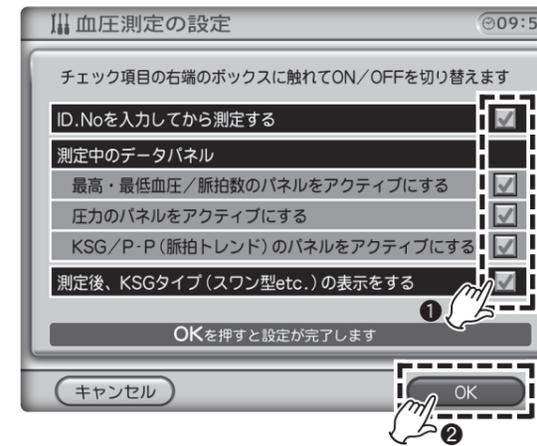


設定を更新しないで
管理設定メニューへ

設定を更新して
管理設定メニューへ

- 画面設定でおこなったすべての設定を更新するには[OK]を押します。
[キャンセル]を押すと、画面設定で行なったすべて設定(表示順位等)は更新されません。誤って保存画像を削除した場合などは[キャンセル]を押すことで画像の削除を取り消すことができます。

C 血圧測定の設定



- 管理設定メニュー(P.21)で[血圧測定の設定]を選択すると左の画面が表示されます。

- 1 画面右側のチェックボックスに触れて項目のON/OFF設定をおこないます。



- 2 画面右下の[OK]を押すと設定が更新されます。

ID.Noを入力してから測定する 【初期設定OFF】

[メニュー]で[身長/体重を入力してから測定する]を選択した時、身長/体重を入力する前にID.Noを入力するかどうかの設定を行ないます。

測定中のデータパネル

最高血圧/最低血圧/脈拍数のパネルをアクティブにする 【初期設定ON】

測定中の画面で最高血圧、最低血圧、脈拍数のパネル部分を測定に同期して表示させるかどうかの設定を行ないます。

圧力のパネルをアクティブにする 【初期設定ON】

測定中の画面で圧力のパネル部分を測定に同期して表示させるかどうかの設定を行ないます。

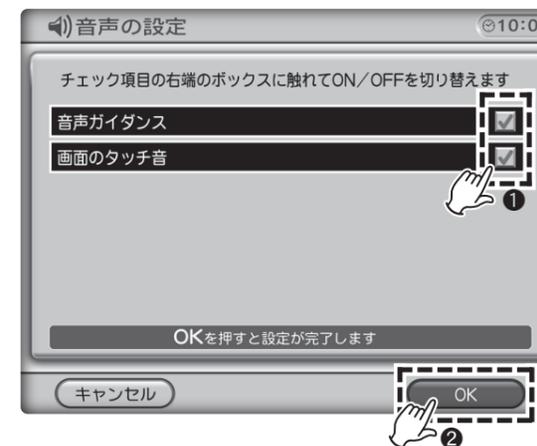
KSG/P-Pのパネルをアクティブにする 【初期設定ON】

測定中の画面でKSG/P-P(脈拍トレンド)のパネル部分を測定に同期して表示させるかどうかの設定を行ないます。

測定後、KSGタイプ(スワン型etc.)の表示をする 【初期設定ON】

測定終了後、データの詳細[KSG/P-P]の画面でKSGのタイプ(スワン型等)の表示をするかどうかの設定を行ないます。

D 音声の設定



- 管理設定メニュー(P.21)で[音声の設定]を選択すると左の画面が表示されます。

- 1 画面右側のチェックボックスに触れて項目のON/OFF設定をおこないます。

- 2 画面右下の[OK]を押すと設定が更新されます。

音声ガイダンス

血圧測定の際、音声によるガイダンスを流すかどうかの設定を行ないます。初期設定ではONに設定されています。

画面のタッチ音

タッチパネルでのボタン操作を行なう時に「ピッ」と鳴る音のON/OFF切替えを行ないます。初期設定ではONに設定されています。

機能の設定

E パスナンバーの変更



- 管理設定メニュー(P.21)で[パスナンバーの変更]を選択すると左の画面が表示されます。

- 1 入力ボックスに変更後のパスナンバーを入力して[確認]ボタンを押します。

注意 パスナンバーの有効桁数は13桁までです。

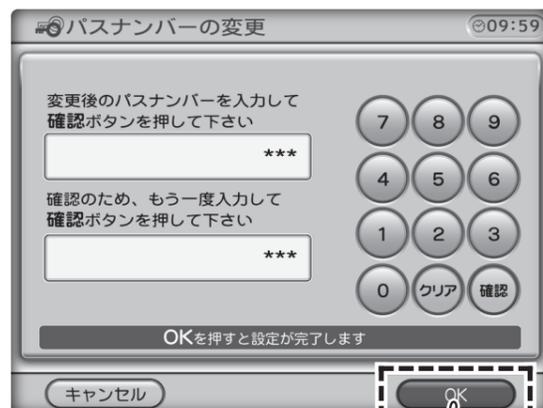
※この時点で変更を取りやめる場合は、画面左下の[キャンセル]を押して管理設定メニューに戻ります。



- 確認のための再入力ボックスが現れます。

- 2 変更後のパスナンバーを再度入力して[確認]を押します。

※この時点で変更を取りやめる場合は、画面左下の[キャンセル]を押して管理設定メニューに戻ります。



- 画面右下に[OK]ボタンが表示されます。

※この時点で変更を取りやめる場合は、画面左下の[キャンセル]を押して管理設定メニューに戻ります。

- 3 [OK]ボタンを押すとパスナンバーが更新されます。

注意 変更後のパスナンバーは大切に保管して下さい
変更後のパスナンバーをお忘れになると、[管理設定]でFT-1100の各種機能設定を行なうことができなくなります。このことによる付随的な損害に体しても当社は一切の責任を負いません。万が一、パスナンバーをお忘れになった時は、弊社営業所または販売代理店にお問い合わせ下さい。

その他の機能

外部データ

- FT-1100と接続が可能な外部機器のデータをプリントアウトする時は画面上の[外部データ]を押します。データのプリントアウト、削除に関しては、画面の指示に従って下さい。



データテーブルの印字

- 電源投入後からの測定データの履歴をすべて印字する場合、管理設定メニュー画面上の[データテーブル印字]を押すと、本体からプリントアウトされます。

- データテーブル

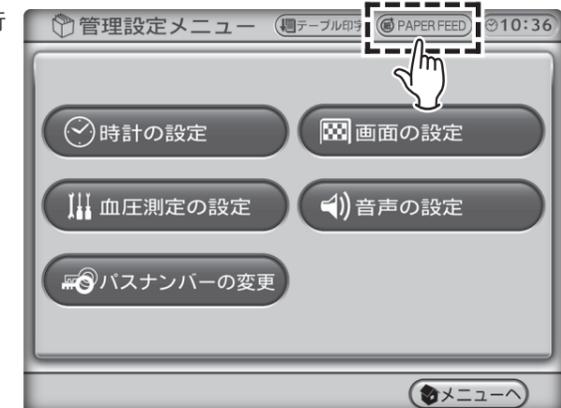
日付	時刻	最高	最低	脈拍
.....	03/07/29			
15:45	128	063	055	
15:51	105	068	065	
15:54	141	061	059	
15:55	140	057	056	
15:57	097	055	064	
16:01	107	069	066	
16:04	126	056	059	

※電源を切ると測定データの履歴は消去されます。



記録紙の紙送り

- 記録紙のセット等の際、画面操作で紙送りを行なう時は、管理設定メニュー画面上の[PAPER FEED]を押します。



故障かな?と思ったら

確認して下さい

本機器が正常に作動しない場合には、まず以下の項目を確認して下さい。
確認しても動作しない場合には、弊社営業所または販売代理店までお問い合わせ下さい。

症状	確認事項
電源が入らない。	●電源プラグがコンセントから外れている、本体と電源コードの接続が完全でない可能性があります。電源コードの接続を確認して下さい。
電源を入れてもメニュー画面が表示されない。	●電源コードの接続状態を確認して下さい。 ●電源を入れてからメニュー画面が表示されるまでには約3分ほどかかります。電源をいれてしばらく待ってもメニュー画面が表示されない場合は、電源を切り、再度電源を入れ直して下さい。
画面に触れても反応しない。	●液晶パネル面への接触面積が大きい場合(手のひらなど)、正しく入力されないことがあります。 ●入力の有効範囲(ボタン等の部分)以外がすでに押されている状態の時は、ボタン操作はできません。また、2箇所以上のボタンを同時に押しても入力は無効となります。
画面に触れても音が出ない。	●本体背面の音声出力調整ツマミがONになっているか確認して下さい。(P.6参照) ●[管理設定]→[音声の設定]→[画面のタッチ音]チェックボックスがONに設定されているか確認して下さい。(詳しくはP.28を参照)
測定中の音声ガイダンスが出力されない。	●本体背面の音声出力調整ツマミがONになっているか確認して下さい。(P.6参照) ●[管理設定]→[音声の設定]→[音声ガイダンス]チェックボックスがONに設定されているか確認して下さい。(詳しくはP.28を参照)
待受画面が表示されない。	●[管理設定]→[画面の設定]で画像が保存されているか確認して下さい。(詳しくは「画面の設定」P.22~を参照) ●[管理設定]→[画面の設定]で保存画像の表示のチェックボックスにチェックが入っているか確認して下さい。(詳しくは「画面の設定」P.22~を参照)
ID.Noの入力画面が表示され	●[管理設定]→[血圧測定の設定]で[ID.Noを入力してから測定する]チェックボックスにチェックが入っているか確認して下さい。(詳しくはP.28を参照) ●ID.Noの入力は[メニュー]で[身長/体重を入力してから測定]を選択した時に入力が可能です。
プリンタが作動しない。	●本体背面のプリントON/OFFスイッチがOFFになっていないか確認して下さい。(P.6参照)
記録紙は出てくるが印字され	●記録紙の表裏が反対になっていないか確認して下さい。(詳しくはP.20を参照)
プリンタが自動給紙しない。	●プリンタのレバーが下がっているか確認して下さい。 ●挿入する記録紙の先がまっすぐに切られていないと自動給紙できない場合があります。(詳しくはP.19~「記録紙のセット方法」を参照)
外部メモリを接続しても[画像の取込み]画面にファイル名が表示されない。	●外部メモリが確実に接続されているか確認して下さい。 ●[画像の取込み]の画面で[キャンセル]を押して[画面設定]の画面に戻り、再度[画像取込]を押すとファイル名が表示されることがあります。 ●画像の保存形式/ファイル名が正しくない場合、[画像の取込み]の画面にファイル名は表示されません。外部メモリに保存されている画像のファイル形式を確認して下さい。(詳しくはP.25を参照)

メンテナンスなど

保証について

- 本機器(FT-1100)をお買い上げいただいた場合、保証書がついていますので、必ずお受け取り下さい。記載内容及び「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管して下さい。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけ下さい。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

- 調子が悪い時は
修理を依頼される前に、この取扱説明書を再度ご覧になってお調べ下さい。それでも調子が悪い時には弊社営業所または販売代理店に御連絡の上、御相談下さい。
- 保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能維持ができる場合は、ご要望により有償修理いたします。

仕様

FT-1100

測定方式	リバロッチ方式
圧力表示範囲	0～270mmHg
圧力検出	半導体圧力センサー
圧力誤差	±4mmHg
最小表示値	1.0mmHg
最小処理数	30 脈拍 / 分
最大処理数	180 脈拍 / 分
脈拍表示の誤差	±5%
表示方式	タッチスクリーン機能き LCD カラー液晶画面
排気調整	自動排気調整
圧力リミッター	280mm で瞬間排気
記録方式	オートカッター付サーマルラインプリンター
電源	AC100V 50/60Hz
電源入力	60VA 以下
消費電力	60VA
寸法	幅465mm高さ278mm奥行き325mm
認証番号	20500BZZ00191000

MEMO